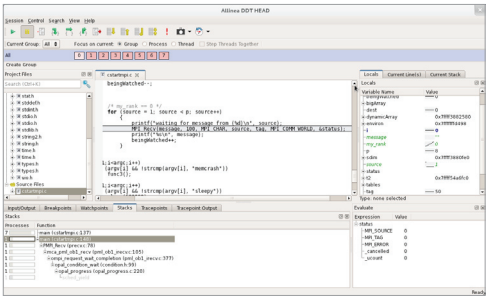
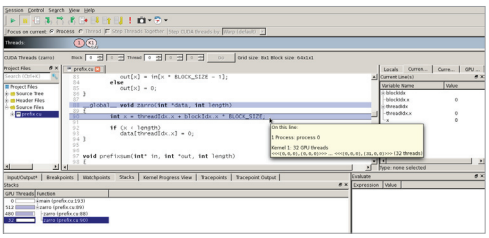
allinea DDT

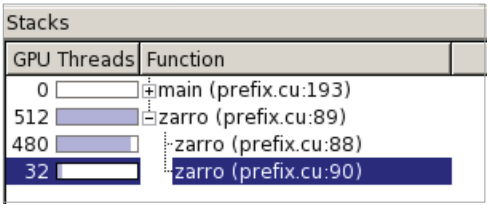
Allinea DDT 3.1 - ワークステーションからペタスケールまで



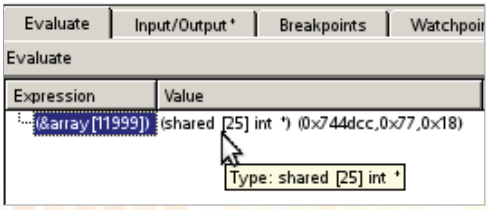
簡単に、高速に、より効率的に、最も過酷な並列アプリケーションをデバッグ



Allinea DDTのCUDAインターフェース



並べて表示できるCPUとCUDAスレッド



PGAS環境の更なるサポート

Allinea DDTはアプリケーションをシングルコアから数千コアまでスケールさせる、直感的なGUIデバッガのグローバルスタンダードです。

Allinea DDTは小規模ワークステーションでも、高性能クラスタでも、アプリケーションを容易に管理でき、生産性を向上させることができます

Allinea DDTはペタスケール以上における高生産性を維持するための反応時間と、タスクサイズに自動的に適応する最も直観的なユーザインタフェースを兼ね備えています

あらゆるスケールで簡単に使える強力な特徴を備えているため、ソフトウェアのバグ修正がとても簡単になります

NVIDIAの最新のツールキットをサポートし、Allinea DDTのCUDAオプションによりCPUおよびGPUスレッドを同じ画面において包括的かつスケーラブルにデバッグできます。

超並列革命

E: info@allinea.com www.allinea.com

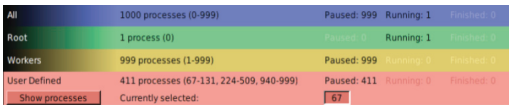
allinea

無料トライアル版はALLINEA社のウェブサイトからダウンロードしてください。

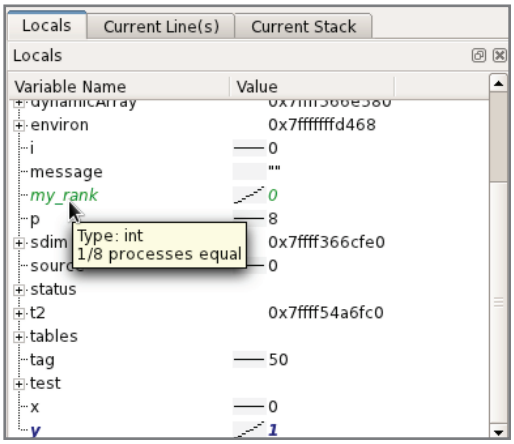
allinea DDT

distributed debugging tool

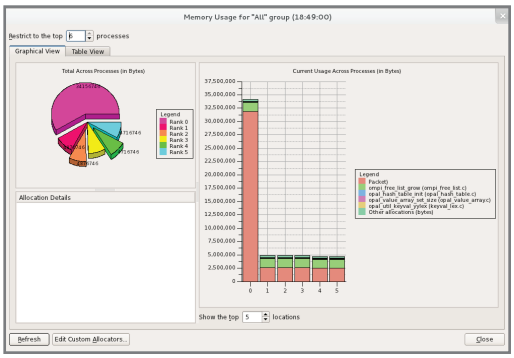
スケーラブル　多用途　直観的



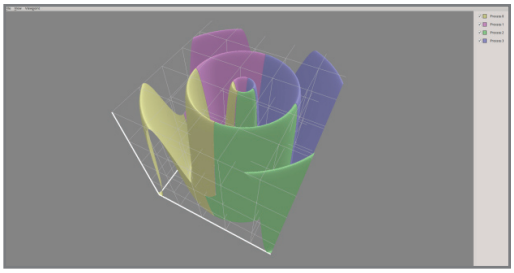
１つのパネルから数千プロセスの制御ができます。



スマートハイライトにより、プロセスをまたいだ変数比較及び変化を即時に検出できます。



メモリデバッグ機能がメモリリークや境界エラーを見つけ出します。



多次元配列ビュワーで分散データの3D可視化が簡単になります。

- 即座に表示される変数を見ながらプロセス、スレッドのグループをステップ実行
- 現在のプロセス位置を表示する、強化された並列スタックビュー
- スケーラブルなプロセス同士の比較
- プログラムのデッドロックを検出するメッセージキュー分析
- 改善されたアタッチウィンドウにより、簡単にMPIジョブの選択が容易になり、サブセットにアタッチ
- Fortranモジュールブラウザを含む先進的なFortran、C++のサポート
- PGAS言語であるUPCとコアレイ型Fortran 2008のサポート
- C++のSTL, Boost, Qt変数の自動表示
- トレースポイント―インテリジェントな実行中の変数履歴のログと
- フィルタリングを用いたマルチプロセスと多次元配列ビュワー

- 例外メモリデバッグ機能と割当データのアウトオブバウンド書込と読込の即時検出
- ローカル変数、スタックフレーム、および複雑なデータ構造の簡単なナビゲーション
- プロジェクトソースファイルの構文ハイライト自動表示
- MPI、OpenMP、マルチスレッドのサポート
- プロセスグループのシンプルな表示
- 遠隔起動機能
- 複数実行デバッグサポート（クライアント／サーバ）
- 全ての知られたMPIやSHMEM実装のサポート
- トレースポイント―インテリジェントな実行中の変数履歴のログとマージ - スケーラブルなprintfの代替

What's new in 3.1:

- ユーザ不在のバッチ処理中にデバッガを実行するオフラインモード
- CUDA 4.0のサポート
- 自動的にプロセス間のデータ値を示す新しいスパークライン
- ソースコード中のエラーをハイライトするcppcheckとftncheckによる静的コードチェック
- Crayのコンパイル環境によるコアレイ型フォートランのデバッグサポート
- Cray, Berkley, SGI, GNUコンパイラによるUPCのサポート
- CrayのOpenMP加速モデルとCAPS HMPPのオンデバイスGPUデバッグのサポート
- ARMv7アーキテクチャのサポート

株式会社クロスアビリティ
info@x-ability.jp　http://x-ability.jp/
東京本郷研究室：
113-0033 東京都文京区本郷3-16-6 本郷コンドミニアム801
神戸京コンピュータ研究室：
650-0047 神戸市中央区港島南町7-1-28 計算科学センタービル2階
Tel : 03-5800-7731　Fax : 03-5809-3099